



# マドリッド通信

## 第8回 中国を取り巻く観光マーケティングの話

「アジアの龍」中国。市場分析をする上で、その市場がどのくらいの規模や性質を持つのかを知ることが重要だ。

まず、人口や経済活動規模について確認したい。

中国は、2014年の時点で総人口13億9000万人(女性比率48%。香港730万人・マカオ60万人を除く)を数える。

10歳～24歳の若年層人口は2億7000万人(総人口の20%)。米国と同水準)で、インドネシアの現在の総人口2億5000万人を凌ぐ。これから若い力がこの国を支えていく一方で、平均寿命も男性74歳女性77歳と伸びているため、高齢化社会へ突入していくと言われている。

ただ、2030年の14億5000万人をピークに、中国の人口も減少傾向に転じるため、現在、「二人っ子政策」の見直しなどを進めている。

次に、その経済規模について。

2013年の国内総生産(名目GDP)は約9兆1000億米ドル(日本のは約4兆9000億米ドルの約2倍)と、世界第2位で国民総所得(GNI)もGDPと同額の9兆1000億米ドルだが、一人当たり所得は6595米ドル(日本の4万0068米ドルの16.5%)という水準にとどまっている。現在の中国市場はど

の層の方々が日本を訪れているのか、お客様との取り引きや行動を見ながら、是非とも日々現場でお客様と対応する皆さんの肌感覚を加味して、将来の中国市場と長期的な付き合い方を一緒に考えたいと思っ

る。次に、観光を取り巻く関連データについてみていきたい。

2013年の暦年で中国が送り出した旅行者数は9800万人(前年比18%増)。行き先の1位が香港で約4000万人、2位のマカオが2500万人となっており、中国内需要で66%を占める。実質的に越境する渡航者数は3300万人で、韓国の425万人を筆頭にタイ、台湾、米国の順となる。

旅行活動の主要な指標である2014年における世界各空港の利用者数は、中国勢が上位を占める。北京空港が単独では世界第2位で8600万人だが、上海は上海浦東の5200万人と上海虹橋の3800万人を合わせると9000万人に達して、事実上の1位となる。以下、香港(10位)の6300万人、広州(15位)の5500万人、成都(38位)の3800万人と続き、その総計は3億3000万人に及ぶ。

日本は東京の羽田空港が世界

国連世界観光機関(UNWTO) 本部アジア・太平洋部門「コラボレーター」  
**熊田 順一**

3位の7300万人だが、成田(45位)の3500万人を加えると、1億0800万人となり、1位のアトランタを抜いて、世界で一番忙しい空港に躍り出る。

さて、世界一忙しい地域である東京と3億3000万人を扱う中国の各玄関口をどう繋げ、あるいは分散させて日本の力に変えていくのか。現状を踏まえながら、考えてみる必要がある。

香港・マカオを除く中国本土への旅行者数の順位は、1位は台湾が513万人、2位の韓国が397万人、3位の日本が289万人と続く。日本は中国にとつて重要なインバウンドマーケットであることが分かるし、韓国の人口比水準を考えると、まだまだ、日本から中国を訪れる海外旅行者が低いレベルにとどまっていることが分かる。

どの時代においても、東洋の中心として世界を魅了し続けてきた中国。アジアの国際観光のけん引役でもあるが、実態としては、中国の国内需要が大半を占めている。

国内観光が成熟している日本の観光業界が、中国に提供できるノウハウや経験は数多くあるはずだ。政治・経済の両面に配慮しながら、丁寧かつ着実に互いの観光の魅力を高められる良き隣人として、一緒に歩みを進めることが重要であると感ずる。

JTBパブリッシング

るるぶの旅行通販サイト

リニューアルオープンした「るるぶショッピング」。国内・海外の定番&おすすめのお土産が気軽に買えます!ご当地ならではのアイテムのヒミツや開発ストーリーなどもご紹介!!見て、そして買って楽しめる通販サイトへぜひお越し下さい!

国内&海外の  
素敵なお土産を  
揃えました!!

# るるぶショッピング

お買い物はこちら <http://shop.rurubu.com/>

ここが楽しい①

日本中の  
名産品が買える!

思い出のあの場所の特産品が取り寄せOK!

ここが楽しい②

海外の人気  
アイテムが買える!

旅行前にお土産を手配すれば観光の時間が増やせます

ここが楽しい③

スマートフォンでも  
ショッピング!

お店で並ばなくても旅先でさっとスマホでお買い物

